

第1部 円卓フォーラム

「新たなる美術館像を求めて」

2008年3月21日(金) 10:00 - 17:40、22日(土) 9:30 - 12:00

会場 | 湘南国際村センター(神奈川県葉山町) 定員 | 130名 参加費 | 一般 ¥2,000、学生 ¥1,000

基調講演 | ジェルマン・ヴィアット、ファン・ディアン、サイモン・グルーム、ヴィシャカ・デサイ

総監修・議長 | 建島 哲

討議者 | 高階秀爾、池田 修、後小路雅弘、岡部あおみ、北川フラム、清水敏男、南條史生、原 俊夫、前田富士男、南島 宏、蓑 豊、山梨俊夫、雪山行二、福原義春



MUSEUM SUMMIT

第3回 21世紀ミュージアム・サミット 「ミュージアム・イノベーション」 The Role of Museums in the 21st Century "Museum Innovation"

アンリ・ロワレット(ルーヴル美術館長) ジェルマン・ヴィアット(フランス文化遺産局学芸局長、ケブランリー美術館文化遺産コレクション局長) ファン・ディアン(中国美術館長)
サイモン・グルーム(スコットランド・ナショナル・ギャラリー近現代美術館長) ヴィシャカ・デサイ(アジア協会理事長) 高階秀爾(大原美術館長、西洋美術振興財団理事長)
建島 哲(国立国際美術館長) 青柳正規(国立西洋美術館長) 池田 修(BankARTI929代表) 後小路雅弘(九州大学大学院人文科学研究院教授) 岡部あおみ(武蔵野美術大学教授)
北川フラム(アートフロントギャラリー主宰) 清水敏男(学習院女子大学教授) 南條史生(森美術館館長) 福地茂雄(アサヒビール相談役、企業メセナ協議会理事長、NHK会長)
原 俊夫(原美術館長) 前田富士男(慶應義塾大学アートセンター所長・教授) 南島 宏(熊本市現代美術館館長、女子美術大学教授) 蓑 豊(サザビーズ北米本社副会長、金沢21世紀美術館特任館長、大阪市立美術館名誉館長) 山梨俊夫(神奈川県立近代美術館館長) 雪山行二(横浜美術館館長) 福原義春(かながわ国際交流財団理事長、東京都写真美術館長)

バイリンガル・グループ内ミュージアム・サミット事務局

住所 | 〒102-0074 東京都千代田区九段南3-3-6 3階 E-mail | museum@bilingualgroup.co.jp TEL | 03-3263-3850 FAX | 03-3263-1264

主催 | かながわ国際交流財団、日本経済新聞社 助成 | 国際交流基金 後援 | 文化庁、神奈川県教育委員会、全国美術館会議、企業メセナ協議会、日本博物館協会、美術史学会

協賛 | サントリー、資生堂、損保ジャパン、大日本印刷、トヨタ自動車 協力 | 日本航空

<http://www.nikkei.co.jp/events/>

第2部 シンポジウム

「ミュージアム・イノベーション~変わるミュージアム」

— 7年で入館者数を200万人増やしたルーヴル美術館のマネジメントをさぐる —

2008年4月2日(水) 13:00 - 16:30

会場 | 日経ホール(東京都大手町) 定員 | 600名 参加費 | 無料

基調講演 | アンリ・ロワレット モデレータ | 高階秀爾 パネリスト | アンリ・ロワレット、青柳正規、福地茂雄



TWO EXCITING EVENTS IN TOKYO AND KANAGAWA IN ONE UMBRELLA PROJECT

MUSEUM SUMMIT

第3回 21世紀ミュージアム・サミット「ミュージアム・イノベーション」 The Role of Museums in the 21st Century "Museum Innovation"

かながわ国際交流財団と日本経済新聞社は、海外の美術館における多様な取り組みを紹介し、「ミュージアムは主体的に何ができるのか」を考えることを目的として「ミュージアム・サミット」を開催してきました。今回は自らの方向性を戦略的に考え、実践しているミュージアムのイノベティブな活動の背景と考え方を明らかにし、社会における美術館の持つ「力」への確信を深めたいと思います。海外の美術館長と日本の美術館に携わる一流の討議者・パネリストの「対話」には、現在の日本の抱える課題に対する手がかりがあるはずです。どうぞ奮ってご参加ください。

第1部 円卓フォーラム「新たな美術館像を求めて」

世界各地で美術館は外部環境の劇的な変化に直面していますが、こうした環境下でも「元気のいい」美術館が数多く存在します。「元気のいい」美術館はなぜ元気なのか。その背後にある時代の捉え方や新しい「ものの見方・考え方」とは。これらを国内外の美術館長やアーティストを交えた討議者全員による円卓会議を通して、新たな美術館像を考える契機とします。

日時 | 2008年3月21日(金) 10:00 - 17:40、22日(土) 9:30 - 12:00

会場 | 湘南国際村センター(神奈川県葉山町)

定員 | 130名 参加費 | 一般 ¥2,000、学生 ¥1,000

総監修・議長 | 建畠 哲

基調講演者 | ジェルマン・ヴィアット / ファン・ディアン / サイモン・グルーム / ヴィシャカ・デサイ

討議者 | 高階秀爾 / 池田 修 / 後小路雅弘 / 岡部あおみ / 北川フラム / 清水敏男 / 南條史生 / 原 俊夫 / 前田富士男 / 南島 宏 / 養 豊 / 山梨俊夫 / 雪山行二 / 福原義春

プログラム *日英中同時通訳付

第1日目 2008年3月21日(金)

10:10 趣旨説明 建畠 哲: 国立国際美術館長

10:30 セッション1「イノベーションがなぜ必要とされるようになったのか」

基調講演 | ジェルマン・ヴィアット

10:50 討議

12:00 昼食

13:00 セッション2「アジアの美術館におけるイノベーション」 基調講演 | ファン・ディアン

13:20 討議

14:30 セッション3「現代美術館におけるイノベーション」 基調講演 | サイモン・グルーム

14:50 討議

15:50 コーヒーブレイク

16:20 セッション4「美術館におけるマルチカルチュラルイズム」 基調講演 | ヴィシャカ・デサイ

16:40 討議

17:40 終了

第2日目 2008年3月22日(土)

09:30 セッション5「新たな美術館像を求めて」(総括討議) 議長 | 建畠 哲

12:00 閉会

第1部



ジェルマン・ヴィアット

フランス文化遺産局学芸局長、

ケ・ブランリー美術館文化遺産コレクション局長



ファン・ディアン

中国美術館長



サイモン・グルーム

スコットランド・ナショナル・

ギャラリー近現代美術館長



ヴィシャカ・デサイ

アジア協会理事長

第2部



アンリ・ロフレット

ルーヴル美術館長

第2部 シンポジウム「ミュージアム・イノベーション～変わるミュージアム」

－7年で入館者数を200万人増やしたルーヴル美術館のマネジメントをさぐる－

世界屈指の美術館でありながら、さらなる成長を目指し、課題解決・目的達成のための戦略を計画・実施してきたアンリ・ロフレット・ルーヴル美術館長に、その取り組みを聞きます。さらに、ロフレット氏の基調講演にもとづき、文化活動に独自の視点をもつ美術館長や企業経営者をパネリストに迎え、美術館の役割とマネジメントの両面から現在の美術館が抱える課題や今後の展望について、具体的な事例を交えて検証します。

日時 | 2008年4月2日(水) 13:00 - 16:30

会場 | 日経ホール(東京都大手町)

定員 | 600名 参加費 | 無料

基調講演者 | アンリ・ロフレット

モデレータ | 高階秀爾

パネリスト | アンリ・ロフレット / 青柳正規 / 福地茂雄

プログラム *日仏同時通訳付

13:00 開会挨拶 杉田亮毅: 日本経済新聞社代表取締役社長

13:10 基調講演 | アンリ・ロフレット

14:10 パネルディスカッション モデレータ | 高階秀爾

パネリスト | アンリ・ロフレット、青柳正規、福地茂雄

16:30 閉会

お申込み方法

要事前予約。Webサイトより参加申込書をダウンロードし、Eメール、ファックス、または郵送にてご送付ください。お申込多数の場合は抽選となります。

申込締切

第1部 | 2008年3月7日(金) 第2部 | 2008年3月19日(水)

※当落の結果は、第1部は3月14日前後、第2部は3月26日前後に郵送にてお知らせいたします。

お申し込み先

バイリンガル・グループ内ミュージアム・サミット事務局

住所 | 〒102-0074 東京都千代田区九段南3-3-6-3階

Website | <http://www.nikkei.co.jp/events/>

E-mail | museum@bilingualgroup.co.jp

TEL | 03-3263-3850 FAX | 03-3263-1264

都合により、プログラム・講師は変更する場合があります。